

長岡版総合戦略骨子案

■長岡版総合戦略の理念 “志を未来に活かす、ながおか”

地方創生は、今の若者自らの未来に関わる問題であり、10年20年という長期間の不断の努力が必要です。これは、若者が自覚し自ら志をもって主体的に参加することでのみ達成されるものです。

長岡版総合戦略は、若者自らが汗を流す政策を全市民で応援し、次の世代を担う若者のための「ふるさと長岡」を目指します。

■長岡版総合戦略の特徴

1. 現役世代が若者の志を引き出し応援する

若者に志をもってもらい、若者が主体的に参加し、考え、汗を流す、若者のための地方創生。この若者たちを全市民で応援します。

2. 外からの長岡を応援したいと思う志を大切にする

長岡にゆかりのある人はもちろん、多くの人から長岡のまちづくりに参加してもらいます。

3. 志のような数値化出来ない目標を大切にする

若者にふるさとへの愛着と誇りをもってもらうための施策に取り組んでいきます。

■基本目標

【基本目標1 若者が自らアイデアを出し実現したくなるまち】

若者（社会人・学生）の意見・提案を、「ながおか・若者・しごと機構」を通じ産官学金で支援し、実現するまちづくりを進めます。

【基本目標2 若者が汗を流し仕事を生み出したくなるまち】

安定した雇用創出を生み出すため、伝統産業及び農業も含めた地域産業の振興や、起業創業支援の取り組みを推進します。

【基本目標3 若者が子どもをもつ喜びを感じることものできるまち】

若者の出会い・交流を推進し、長岡オリジナルの充実した子育て支援策を強化して、若者が結婚し、育児したくなるまちづくりに取り組みます。

【基本目標4 未来の若者がどこへ行っても自慢したくなるまち】

子どもたちが世界のどこへ行っても「ふるさとながおか」に愛着と誇りをもつまちづくりを推進します。

【基本目標5 現役世代が若者の志を応援するまち】

現役世代は若者の未来が明るいことを望んでいます。その実現のためにお金を出し、場を与え、アドバイスを行うなど、あらゆる努力を惜しまず若者の志を支えます。

【基本目標6 全国の人たち、世界の人たちが応援したくなるまち】

長岡に住んだことの無い人が応援したくなるまちづくりを推進します。

■スケジュール

- | | |
|-------|--|
| 4月23日 | 総合戦略骨子案発表 |
| 5月 | 産官学金言労による推進会議の議論スタート
長岡の未来を語る若者会議スタート（機構を母体に） |
| 6月 | 若者・企業の提案・意向アンケート（全数調査） |
| 8月末 | 総合戦略策定完了 |

■リーディングプロジェクト

- | | |
|---------------|---|
| 基本
目標
1 | ①若者の志を最大限に吸収する「ながおか・若者・しごと機構」の推進
(3大学1高専15専門学校の学生メンバーが一堂に会して志のスクラムを組む) |
| | ②学生1,000人が集まりつながる交流イベントを自らが企画し開催 |
| | ③女子学生による女性向けインターネット情報発信 |
| | ④アートがまちを彩る造形大生プロデュースによる空き店舗リノベーション |
| | ⑤中山間地域の廃校を若者が改修しテラスハウスやテーマハウスの立ち上げ |
| | ⑥移住女子目線を活用したUIJターンの促進 |
| 2 | ⑦地場産業・伝統産業・伝統工芸へのインターンシップ制度創設 |
| | ⑧長岡のオープンデータを活用したスマホアプリのコンテスト |
| | ⑨長岡産食材フェアやレシピコンテストを通じた長岡野菜ブランド化と全国展開 |
| 3 | ⑩切れ目ない子育てママ支援「長岡版ネウボラ」開始 |
| | ⑪子育てコンシェルジュや子育てサポーターによる市民とつくる子育ての駅の強化 |
| | ⑫事業所内保育所の整備による子育て世代の就労支援 |
| 4 | ⑬青少年による姉妹都市ホノルル市との平和・文化交流事業の推進 |
| 5 | ⑭ふるさと投資（クラウドファンディング）を駆使した若者の起業化支援 |
| 6 | ⑮Webを活用した首都圏居住者から提案を募る「お知恵拝借事業」 |

※テラスハウス・テーマハウス

若者による集合住宅。一つの住宅内で様々な感性の若者や目的をもった若者が交流することにより、新たな価値観の創造と新たな志の創造などを旨とする。

※オープンデータの活用

市が保有する公共データを二次利用可能な形式で公開し、新ビジネスの創出や企業活動の効率化等を促し、地域経済の活性化を図る。

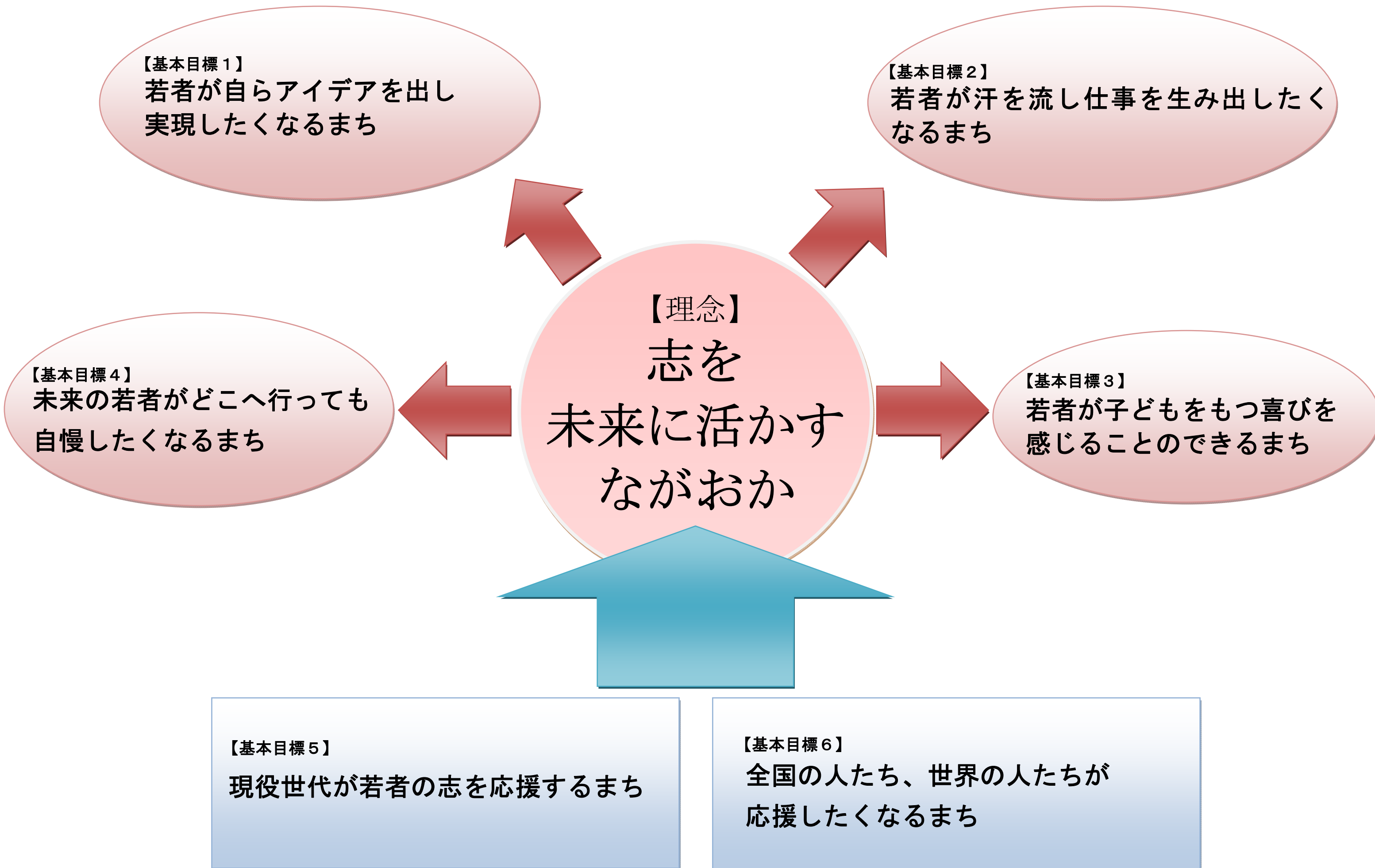
※長岡版ネウボラ

保健師や助産師など専門職員が、妊娠期から就学前にかけて切れ目なく家族を支援する。市独自の子育ての駅や、子育てコンシェルジュ、子育てサポーター等と連携し取り組む。

※クラウドファンディング

Webを活用し、ある目的や志などのため、全国あるいは世界中の人から資金を集める手段。

長岡版総合戦略の骨子案イメージ



長岡発の地方創生 若者が 主役になるまちへ

平成26年度3月補正予算と一体で編成

若者が主役に。 長岡モデルの 地方創生関連予算

地方創生推進体制の整備

長岡版総合戦略の策定 1,021万円
地方創生に向け、まちづくりなどの政策目標と基本的方向性を示します。

進学・就職・定住に関する基礎調査 1,800万円
全ての学生と企業にアンケート調査を実施します。

定住人口の拡大

ながおか・若者・しごとと機構の設立 3,427万円
産官学金が連携し、若者と企業・行政をつなぐ活動に取り組みます。

「産学金連携」重点分野研究開発の支援 2,000万円
企業が金融機関から融資を受けて行う大規模な産学連携による開発などを支援します。⇒★右枠

3大学1高専ワンポイント活用事業の実施 400万円
大学などのノウハウや学生のアイデアを活用し、中小企業が抱える課題の解決を図ります。⇒★右枠

空き工場などを活用する起業家への支援 600万円
市内の空き工場などを活用するものづくり起業家に賃借料や改装費を助成します。⇒35ページへ

がんばる担い手農家の支援 2,300万円
地域農業の将来を担う農家に機械などの導入経費を助成。意欲ある若者の新規就農を支援します。

「オーブ構想プロジェクト」の始動 1,400万円
アイデアコンペなどにより、起業の機運を醸成。若者が起業しやすいまち長岡を全国に発信します。

新・農業人リクルート支援事業の実施 200万円
学生や社会人のインターンシップを受け入れる農家に助成します。

若者の地元定着の推進 309万円
高校生対象のUターン啓発セミナーなど学生や若者を対象にしたセミナーを開催。若者の交流イベント費用を助成します。

地元就職・Uターン就職の促進 2,392万円
首都圏での就職ガイダンスなど、地元企業のPRやUターンに向けた相談会を行います。⇒30ページへ

地元就職と定住人口の増加を促進するため、地元企業を積極的にPRします



空き家リフォームの支援 1,000万円
U・Iターン者などの移住・定住を促進するため、リフォーム費用を助成します。⇒36ページへ

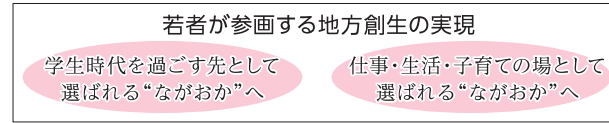
★ 企業と3大学1高専をつなぐ 開発・取り組みを 支援します **募集**

①産学金連携研究開発補助金
対象事業＝大学・高専と連携し、金融機関から融資を受けて行う、特定テーマや学術機関のシーズに基づく分野での新製品開発 補助金額＝対象経費の3分の2以内（上限1,000万円）

②3大学1高専ワンポイント活用事業補助金
対象事業＝市内製造業者が抱える課題に対して、3大学1高専を活用した課題解決に向けた取り組み 補助金額＝対象経費の3分の2以内（上限100万円）

① 6月30日(火) ② 5月11日(月)までに工業振興課
☎39・2222へ

ながおか・若者・しごとと機構のイメージ



若者が主役となる長岡ならではの地方創生を進めるため、若者が自ら企画・提案・実施する取り組みを、産・官・学・金が連携して進める「ながおか・若者・しごとと機構」を新たに設置します。

若者の意見をくみ取り、若者と地域企業のニーズを的確につなぐ活動を行います。

〈具体的な取り組み例〉

- ・若者が住みたくなるような空き家のリフォーム
- ・地元をPRするCMコンテスト
- ・若者同士の交流イベント
- ・若者と企業の交流イベント
- ・市内の3大学1高専、15専門学校、高校の学生や留学生、市に縁のある首都圏などの若者を対象とします。また、小千谷市、見附市、出雲崎町と共に広域での取り組みを目指します。

また、産・官・学・金・労（労働界）・言（地元報道機関）で組織する長岡市地方創生推進会議を設置。地方創生の取り組みを推進します。

長岡市は、地方創生を庁内で横断的に進めるため、市長を本部長とする地方創生推進本部を3月2日に設置しました。

雇用の創出、移住・定住、結婚・出産・子育てなど、まちづくりの方向性を示す長岡版の総合戦略を秋までに策定します。

市長を本部長とする地方創生推進本部を3月2日に設置しました。

雇用の創出、移住・定住、結婚・出産・子育てなど、まちづくりの方向性を示す長岡版の総合戦略を秋までに策定します。

長岡版総合戦略を策定します

若者の思いと提案を実現
ながおか・若者・しごとと機構を設立へ